

第五次千葉県障害者計画策定に係る手順

1 県総合計画と第五次千葉県障害者計画との関係

第五次千葉県障害者計画は「総合計画 7つの取組み」を柱に「その他の施策」を加えて策定。

※ 大分類は、総合計画「主な取組み 1～7」+ 8「その他」で構成。

検討・把握した「Ⅰ 現状」、「Ⅱ 課題」を小分類とする。

中分類は、小分類を分類分けしとりまとめたもとし「Ⅲ 成果目標・数値目標等の設定」、「Ⅳ 取組みの方向性」、「Ⅴ 施策・事業等」を検討し、下記のとおりとりまとめる。

1 総合計画「重点的な施策・取組（実施計画）」

『障害のある人がその人らしく暮らせる社会の構築』

「主な取組」⇒第五次千葉県障害者計画〔大分類〕

（上記1達成に向けた取組）

『1 入所施設から地域生活への移行の推進』
（入所・地域移行等WT）

『2 精神障害のある人の地域生活への移行の推進』
（精神障害者地域移行推進専門部会）

『3 障害のある人への理解を広げ権利を擁護する取組の推進』
（権利擁護専門部会）

『4 障害のある子どもの療育支援体制の充実』
（療育支援専門部会）

『5 障害のある人の相談支援体制の充実』
（相談支援専門部会）

『6 障害のある人の一般就労の促進と福祉的就労の充実』
（就労支援専門部会）

『7 障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実』
（入所・地域移行等WT）



『8 その他の施策』（入所・地域移行等WT）

2 施策等（数値目標・取組み）の設定⇒第五次千葉障害者計画〔中分類〕

（上記1等達成に向けた取組みを示す）

（総合計画）『グループホームの整備促進』
『グループホームの質的向上』
『重度・重複障害者等の地域生活移行の推進』 計3項目

（その他）『「Ⅰ 現状」・「Ⅱ 課題」等から新たな項目の追加』
例：障害者支援施設のバックアップ機能向上
県立施設のセーフティーネット機能強化 等

※ 各専門部会が
それぞれ担当

2 専門部会等の役割等

本部会等の開催スケジュールに沿って、

専門部会等を開催（6回程度）下記のとおり計画（案）等を作成する。

専門部会等における検討スケジュール

- 総合計画の「主な取組み（大分類）」など
担当分野の
① 「Ⅰ 現状」の検討・把握
② 「Ⅱ 課題」の検討・把握 } （小分類）

- 計画の構成・施策分野等の検討 【6月】
① 上記1の「Ⅰ 現状」・「Ⅱ 課題」の
「分類分け（中分類）」
② 骨子（案）の作成

- 上記2の分類ごとに施策等の検討 【7月】
① 「Ⅲ 成果目標・数値目標等の設定」
② 「Ⅳ 取組みの方向性」
③ 「Ⅴ 施策・事業等」

- 計画（案）のとりまとめ 【9月】
○ 上記「3」整理・とりまとめ }
【10月】

- フォーラムの開催及びパブリックコメントの実施
【10～11月】 【1月】

- 修正（案）の作成 【2月】
○ 上記「5」の意見を基に必要に応じて修正

連携・調整

各専門部会等

計画（案）等の提出
意見の提出

総合支援協議会
（第五次千葉県障害者計画策定推進本部会）

とりまとめ・調整等

計画推進班等
（プロジェクトチーム）

意見照会

意見の提出

・意見照会
・計画案の構成
数値目標

関係各課

千葉県障害者施策推進協議会